

◆内容 下記3種の講習会を各1回実施します。

	項目	時間	講習内容	到達目標
①	IoT概論	4H	IoT概要、IoT通信技術、活用事例	<ul style="list-style-type: none">IoTに関する基礎知識習得IoT活用におけるデータの流れに関する理解シングルボードコンピュータの基本的な活用方法に関する理解
②	IoT活用モデル検討	7H	異業種企業が参加し、IoT活用による企業の業務課題解決をケーススタディとしたソリューション提案のアイデアソン	<ul style="list-style-type: none">アイデアソンを通じたIoTビジネスアイデア創出手法の習得企業の課題解決に資するデータの特定に関する理解
③	IoT活用モデル構築	7H	②でのアイデアを踏まえたビジネスモデル提案を行うアイデアソン	<ul style="list-style-type: none">IoTビジネスモデル構築に関する理解

「② IoT活用モデル創出」でテーマと課題を洗い出し、「③ IoT活用モデル構築」で具体化します。

コース名	IoT概論
日数・時間	1 日間（13:00～17:00：4 時間）
概要	近年注目を集めているIoTの基本概念と、データの測定(センシング)、蓄積、加工・分析までの流れを学習します。また、実際にIoTを活用した事例も併せて紹介します。
目標	本コース終了後、次の事項ができることを目標にしています。 <ol style="list-style-type: none">1. IoTの実現に必要な構成要素について説明できる。2. センシング機器によるデータ測定の流れを説明できる。
学習項目	<ul style="list-style-type: none">・IoTとは・IoTの特徴・IoTを活用したデータセンシングから加工、分析するまでの流れ・IoTの活用事例・Raspberry Pi とは・体験Raspberry Pi （ハンズオン）<ol style="list-style-type: none">1. Raspberry Pi のセットアップ2. センサーからの入力データを表示する3. センサーからの入力データを処理する4. 外部機器と連携する

コース名	IoT活用モデル検討（アイデアソン）
日数・時間	1日間（9:00～17:00：7時間）
概要	<p>「業務課題解決」をケーススタディとしたソリューション提案を行うアイデアソンを実施します。</p> <p>様々な情報を利用し、現在抱えている業務課題を発見、深掘りするとともにその解決策を創造していきます。</p>
目標	<p>本コース終了後、次の事項ができることを目標にしています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 課題解決に資するデータ特定方法を理解する。 2. アイデアソンによるアイデア創出の流れを説明できる。
学習項目	<ul style="list-style-type: none"> • オリエンテーション • 自己紹介 • チーミング • グループディスカッション • 発表 • 参加者による審査 • 講評

カリキュラム	想定時間
カリキュラム説明	5分
ファシリテータ自己紹介	10分
IoT概論に関する復習	30分
参加者自己紹介（自社企業の紹介を含む）	60分
課題捻出	50分
アイデア創出	15分
ペアストーミング（アイデア出し5分、メモ1分、4セット）	30分
アイデアスケッチ	30分
アイデア展示＆投票	15分
チーミング	15分
グループディスカッション	100分
発表	30分
審査	20分
講評	10分
計	420分

※途中休憩含む ※進捗状況によって、想定時間が変更となる可能性があります。

コース名	IoT活用モデル構築（アイデアソン）
日数・時間	1日間（9:00～17:00：7時間）
概要	IoT活用アイデアソンで創出したアイデアを基に、IoTビジネスモデルを構築するアイデアソンを実施します。 グループごとに決めたアイデアについてブラッシュアップを行い、具体的なビジネス構想を検討します。
目標	本コース終了後、次の事項ができることを目標にしています。 1. IoTビジネスモデル構築に関する流れを理解する。
学習項目	<ul style="list-style-type: none"> • 3軸の決定（WHO、WHAT、HOW） • 事業構造の検討 • 収益構造の検討 • 実現可能性の検討

カリキュラム	想定時間
カリキュラム説明	5分
前回の振り返り	60分
ブラッシュアップ <ul style="list-style-type: none"> • アイデア再発散 • 3軸の決定 (WHO,WHAT,HOW) • 事業構造の検討 • 収益構造の検討 (ピクト図解の作成) • 実現可能性の検討 など 	270分
発表	60分
審査	15分
講評	10分
計	420分

※途中休憩含む

※進捗状況によって、想定時間が変更となる可能性があります。